

アクションプランのイメージ【具体的な取組】（案）

1. 安全・安心で、元気あふれるまちづくり

項目	課題と対応（必要性）	新規	既存	アンケート項目番号	具体的な取組	役割		指標			
						地域・住民 上段：役割 下段：団体	東区役所 上段：役割 下段：主管課	現状・実績 2018年	2020年	2025年	2030年
(1)土砂災害等に対する備え	住民の生命・財産を守り、良好な生活環境の確保及び都市機能を保持するため、地域ぐるみの防災訓練や防災マップの作成などにより、災害に備える。		○		(ア)防災マップを作り、まさかの災害に備えよう！	防災マップの作成	防災マップ作成支援	防災マップの作成地区数			
					自主防災会	地域起こし推進課	2019年度中に全学区で作成見込み	全小学校区で作成	更新	更新	
					(イ)「自助」「共助」「公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	防災訓練の実施	防災訓練の実施支援	防災訓練の開催地域数			
					自主防災会	地域起こし推進課	4地域/毎年	4地域/毎年	4地域/毎年	4地域/毎年	
(2)避難行動要支援者への支援	避難行動要支援者のうち危険区域に居住し、且つ、家族等の支援を受けられない方々への対応方法などについて、地域が中心となって検討する。		○		要支援者を地域で支えよう！ 【関連】2-(4)-(エ)	避難行動要支援者名簿を基に支援方法を検討	地域コミュニティ全体で取り組むためのアドバイス・支援	簡易な指標としては、個別計画の作成数とするが、これに代わるものを地元独自で作成した場合は、それを以て指標とする。			
					町内会、自主防災会、社会福祉協議会	地域起こし推進課	-	6地区/13地区	13地区/13地区	更新	
(3)地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化	町内会役員の固定化、高齢化、後継者不足、町内会加入率の低下など、解決策を見いだせない課題を、地域起こし推進課と区役所とが常に共有しておく必要がある。 (補助金事業) 少子高齢化や核家族化、町内会・子ども会への加入率の低下に伴う、高齢者や子育て家庭の孤立化を防ぐため、地域の実情に応じた地域コミュニティ活性化を図るための主体的・継続的に行う取組を支援する。	○		7	(ア)次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	各種地域団体の役員等の講演会への参加 ・地域住民、会員への広報	・コミュニティ活性化に関する講演会の開催 ・先進事例の紹介	講演会の参加者数			
					町内会、自治会、PTA	地域起こし推進課	-	100人/年	100人/年	100人/年	
					(イ)「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金 「三世同居・近居支援事業」などで対応 【関連】2-(4)-(オ)	申請手続きの支援	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金の新規申請件数				
						地域起こし推進課	2019:2件	2件	2件	2件	

アクションプランのイメージ【具体的な取組】（案）

2. みんなで支え合うまちづくり

項目	課題と対応（必要性）	新規	既存	アンケート項目番号	具体的な取組	役割		指標					
						地域・住民 上段：役割 下段：団体	東区役所 上段：役割 下段：主管課	現状・実績 2018年	2020年	2025年	2030年		
(1)認知症高齢者の増加に伴う対応	高齢化の進展に伴い、認知症の人やその疑いがある人は増加が見込まれるため、認知症サポーターを増やし、地域で認知症の人やその家族を手助けしたり、優しく見守る仕組みを作る。 認知症の人とその家族などが、地域で安心して気軽に集い、できる場として、認知症カフェの設置が必要である。		○		(ア)認知症サポーターになろう！ ・認知症サポーター養成講座への参加呼びかけ ・地域での認知症サポーターとしての活動	区内の小中高等学校、大学での開催支援 ・地域の学校、事業者、団体等への参加呼びかけ ・テキスト等の購入	全ての小中高等学校及び大学で1年に1回以上開催されることを目指す。						
					(イ)認知症カフェを広めよう！ ・認知症カフェの設置 ・認知症カフェに対する運営（地域の団体等が設置した場合） ・認知症カフェに対する運営協力（病院等の法人が設置した場合）	地域支えあい課	小学校11/12、中学校6/7 高等学校4/5、大学2/2	小学校12/12、中学校7/7 高等学校5/5、大学2/2	小学校12/12、中学校7/7 高等学校5/5、大学2/2	・全ての地区社協のエリアで1か所以上の認知症カフェの立ち上げを目標とし、最低でも年に1回は新たな地区での開催を目指す。（未設置学区5カ所） ・地域に開かれたカフェにするため、認知症家族以外の地域住民の参加者を増やしていく。			
(2)高齢者の健康づくり、介護予防の推進	地域と協力し、介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。		○	8	いきいき百歳体操に取り組もう！ ・新たな介護予防拠点の立ち上げ ・介護予防拠点での、いきいき百歳体操の運営と参加	・リハビリテーション専門職の派遣調整、整備・運営に関する支援 ・地域介護予防拠点の立ち上げ支援	拠点数の増加と、2025年の参加者数が高齢者人口の概ね1割となることを目指す。	73か所 1,685人	83か所 1,980人	99か所 3,098人			
(3)地域ぐるみの子育て支援	子育て中の親子が利用しやすい地域オープンスペースの充実を図るとともに、子育て家庭と高齢者との交流会を開くなど、地域団体と連携した取組を通じて、地域における子育て支援を充実させる。		○	2	(ア)地域子育てオープンスペースの開催回数や開催場所を充実させよう！ ・地域子育てオープンスペースの開催 ・子育て世帯への声掛け	・子育てオープンスペースの運営支援、立ち上げ支援 ・子育てオープンスペースの保険等の費用負担	地域オープンスペースの参加者数（平成29年度延べ参加者数2,712人、毎年度50人増を目指す。）	2,712人	2,900人	3,150人	3,400人		
					(イ)子育て世帯と高齢者の交流の機会（多世代交流の場）を増やそう！ ・多世代交流の場の企画・運営	多世代交流の場の企画・運営支援	多世代交流の場の開催場所を増やす。	町内会・自治会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア	地域支えあい課	1/13地区	6/13地区	13/13地区	13/13地区
(4)地域共生社会の実現に向けた取組	関係機関や地域団体が連携し、複合的な課題を解決するための仕組みを作る。		○	189	(ア)地域共生社会実現のための普及啓発イベントに参加し、実践しよう！ ・各種イベントへの参加及び地域での取組の発表 ・地域での好事例の紹介 ・他地域の好事例を参考にした取組の実践	・市民フォーラム等の各種イベント等の開催 ・地域における取組（多世代交流や支え合いの取組等）の支援	子ども、高齢者、障がい者などの垣根を越えた、他分野や多世代の交流の場を、区内の13地区に立ち上げることを目指す。	-	3/13地区	13/13地区	13/13地区		
					(イ)生活支援等を行っている地域団体と医師や歯科医師等の専門職が連携した支援ができる仕組みを作ろう！ ・地域団体の医療・介護関係者との連携方策の検討	・連携方策への支援	地域団体と医療・介護関係者の連携を支援した件数	-	39件	78件	117件		
					(ウ)高齢者や障がい者など支援が必要な人を含め、日ごろから見守り声かけ合う地域づくりを目指そう！ ・見守り世帯に高齢者のみならず障がい者等を含めた近隣ミニネットワークの充実	障がい者等を含めた見守り活動の充実支援	近隣ミニネットワークの見守り世帯数に高齢者のみならず障がい者等が含まれている地区数	2017:3/13地区	5/13地区	13/13地区	13/13地区		
					(エ)要支援者を地域で支えよう！ 【関連】1-(2)	避難行動要支援者名簿を基に、避難者への支援方法を検討	地域コミュニティ全体で取り組むためのアドバイス・支援	簡易な指標としては、個別計画の作成数とするが、これに代わるものを地元独自で作成した場合は、それを以て指標とする。	-	6地区/13地区	13地区/13地区	更新	
(補助金事業) 少子高齢化や核家族化、町内会・子ども会への加入率の低下に伴う、高齢者や子育て家庭の孤立化を防ぐとともに、交通弱者（移動制約者）への支援のため、地域の実情に応じた地域コミュニティ活性化を図るための主体的・継続的に行う取組を支援する。			○		(オ)「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金 「三世同居・近居支援事業」などで対応 【関連】1-(3)-(イ)	・申請手続きの支援	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金の新規申請件数	2019:2件	2件	2件	2件		
(5)地域で取り組む生活習慣病予防	受診率が向上するよう地域ぐるみで取り組むなど、受診勧奨の方法に工夫をすることで、健診結果を踏まえ、野菜の摂取量を増やす、運動習慣のある者を増やすなど、自身の健康に対する関心を高めるようなきっかけを作る。		○	3	(ア)健診（検診）を受けよう！ ・巡回健診日の周知 ・自ら受診するとともに、周囲の方へ受診するよう声掛け	・健診サポーター養成講座の開催 ・巡回健診日の広報	特定健康診査受診率	(参考値) 2017:20.4%	35%	50%(2023年度)			
					(イ)野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！ 【関連】3-(4)-(イ) 4-(2)-(イ)	・地元野菜を活用したレシピの開発	料理教室の開催数	-	1回/年	2回/年	2回/年		
					(ウ)東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！ 【関連】3-(2)-(イ)(ウ) 3-(5)-(イ)	・健康ウォーキングのつどいの運営支援 ・ウォーキングマップの作成	健康ウォーキングのつどい参加者数	119人	150人	200人	250人		

アクションプランのイメージ【具体的な取組】（案）

3. 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり											
項目	課題と対応（必要性）	新規	既存	アンケート項目番号	具体的な取組	役割		指標			
						地域・住民 上段：役割 下段：団体	東区役所 上段：役割 下段：主管課	現状・実績 2018年	2020年	2025年	2030年
(1)二葉の里歴史の散歩道などの活用	二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、インバウンド(訪日外国人旅行者)や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。	○	○	13	(ア)「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう! 【関連】 4-(1)-(ウ)	・新コースなどガイドツアーの企画 ・ガイドツアー実施 ・ガイドスキルアップ研修の実施	・ガイドツアー実施補助 ・広報活動の支援	「ふたばの日」ガイドツアー年間参加者数			
					歴史の散歩道ボランティアガイドの会	地域起こし推進課	815人	830人	871人	911人	
					(イ)「夏の夜、祈りと平和の夕べ」に外国人を含む来訪者を増やそう 【関連】 4-(1)-(エ)	・イベントのPR ・外国人向けガイド内容の検討 ・ガイドツアー実施	・実行委員会運営 ・広報活動の支援	外国人を含むイベントへの来訪者数			
		○	○	13	(ウ)歴史講座を開催し、ボランティアガイドを増やそう!	・歴史講座の企画 ・講師・内容の検討 ・広報活動	・講座実施補助 ・広報活動の支援	歴史講座参加者に対して、ボランティアガイドの会への参加を促し、新規会員を増やす。			
					歴史の散歩道ボランティアガイドの会	地域起こし推進課		平均1人弱/年	1人/年	1人/年	1人/年
(2)都心の近くにある自然とのふれあいの促進	都心のすぐ近くで自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースを広く区民や観光客に周知し、活用を促す。	○	○	12	(ア)自然観察の楽しさを広めよう!	・自然観察会の企画 ・自然観察会の実施 ・広報活動	・広報活動の支援	年間自然観察会参加者			
					緑と水のボランティアの会	地域起こし推進課	64人	65人	70人	75人	
					(イ)都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう!(牛田山ハイキング) 【関連】 2-(5)-(ウ) 3-(5)-(イ)	・牛田山ハイキングの企画 ・牛田山ハイキングの実施 ・広報活動	・関係団体及び関係機関との連絡調整 ・広報活動の支援	牛田山ハイキング参加者数			
					体協等地域団体、緑と水のボランティアの会	地域起こし推進課	177人	180人	190人	200人 /	
		○			(ウ)地域主催のハイキングイベントを増やそう! 【関連】 2-(5)-(ウ) 3-(5)-(イ)	・ハイキングコースの活用策の検討 ・広報活動	・関係団体及び関係機関との連絡調整 ・広報活動の支援	地域主催ハイキングイベント実施地域数			
						体協等地域団体、緑と水のボランティアの会	地域起こし推進課	-	1地域	5地域	10地域
(3)古くからある地域の祭りや伝統行事の継承など、地域資源を活かした住民主体の活動の推進	(補助金事業) 地域の祭りや伝統行事など、地域資源を活かしたまちづくりを進める団体や活動を支援する。	○	○		「魅力と活力向上推進事業補助金」で対応 【関連】 4-(1)-(オ)		・広報活動の支援	「魅力と活力向上推進事業補助金」の新規申請件数			
						地域起こし推進課		2018:2件 2019:4件	3件	3件	3件
(4)大学との地域連携によるまちづくり	広島女学院大学、比治山大学・比治山大学短期大学と東区役所が、包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し互いに協力することにより、地域の発展と人材の育成を図る。	○	○	3	(ア)健康づくりに取り組む若者を育てよう	・健康ブースの企画・運営 広島女学院大学 比治山大学・比治山大学短期大学部	・大学祭での健康ブースの開催 ・健康づくり講演会の開催	健康ブースの企画回数			
					(イ)野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう! 【関連】 2-(5)-(イ) 4-(2)-(イ)	・地元野菜を活用したレシピの開発 広島女学院大学 比治山大学・比治山大学短期大学部 ふれあいもてなし市協議会 東区内JA	・元気じゃけん食堂でのレシピ等の配布	地産地消を推進するため、地元野菜を活用したレシピの数			
					(ウ)命の大切さや思いやりの心を持つ若者を増やそう	・常設子育てオープンスペースにおけるイベントの企画・実施 広島女学院大学 比治山大学・比治山大学短期大学部	学生の参加の調整 参加者への案内	大学生が常設オープンスペース「ぼっぼひがし」において、親子で楽しめるイベントを開催する。			
						地域支えあい課		年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催
(5)スポーツを通じた区民の連帯感の醸成	横断幕等やFacebook等のSNSを活用し、地元のトップアスリートの応援等を通じて、区民の連帯感の醸成を図るとともに、誰でも気軽に参加できるニュースポーツなどの体験会を通じて、仲間づくりを図る。	○	○	6 8 9	(ア)区民が連帯し、地元のトップアスリートを応援しよう!	・応援団結成に向けた取組 ・応援活動の広報 女子ハンドボールチーム・メイプルレッズ 地域住民	・応援団結成に向けた取組への支援 ・広報活動の支援	年間応援団参加者数			
					(イ)高齢者や障がい者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう! 【関連】 2-(5)-(ウ) 3-(2)-(イ)(ウ)	・スポーツ等への参加機会を増やす取組 区体育団体連合会 区スポーツセンター	・広報活動の支援 ・実施に向けた取組への支援	※東区スポーツセンター及び体協と協議中			
						地域起こし推進課		99人	100人	150人	200人
(6)都心に近い農業地域の活力向上	都心に近い農地を活用した地元野菜の普及と、地産地消の推進を図る。	○	○	14	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう! 【関連】 4-(2)-(ア)	・「木曜であい市」への出荷及び開催 ・安心して食べられる地元野菜の栽培とPR	・「木曜であい市」の開催支援 ・広報活動の支援	木曜であい市年間来場者数			
					ふれあいもてなし市協議会	地域起こし推進課	2017:4,444人 2018:3,500人	4,000人	4,250人	4,500人	

アクションプランのイメージ【具体的な取組】（案）

4. おもてなしの心あふれるまちづくり											
項目	課題と対応（必要性）	新規	既存	アンケート項目番号	具体的な取組	役割		指標			
						地域・住民 上段：役割 下段：団体	東区役所 上段：役割 下段：主管課	現状・実績 2018年	2020年	2025年	2030年
(1)陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区(エキキタ)のにぎわいづくり	「エキキターレ」を活用し、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図り、さらに認知度を向上させるとともに、定期的に訪れる機会を提供し、「住みたい」「働きたい」まちとして、「エキキタ」をアピールしていく。		○	5	(ア)「エキキターレ」をエキキタのにぎわい広場として盛り上げよう！	・にぎわいづくりイベントの企画及び実施 ・キッチンカー等による経常利用の取組 ・利用機会を増やすための広報活動	・イベント実施補助 ・広報活動の支援 ・行政等への申請手続きの支援	区役所関連のイベント開催件数の増			
					エキキタまちづくり会議	地域起こし推進課	2019:3件(予定)	3件	4件	5件	
					(イ)「エキキタ・ドリミネーション」を、エキキタのインスタスポットに育てよう！	・ひろしま・ドリミネーションとの連携 ・エキキタ・ドリミネーション参加企業・店舗増に向けた取組 ・広報活動の支援 ・行政等への申請手続きの支援	エキキタ・ドリミネーション参加企業・店舗数				
					エキキタまちづくり会議	地域起こし推進課	23企業・店舗	25企業・店舗	30企業・店舗	35企業・店舗	
					(ウ)「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！ 【関連】 3-(1)-(ア)	・新コースなどガイドツアーの企画 ・ガイドツアー実施 ・ガイドスキルアップ研修の実施	・ガイドツアー実施補助 ・広報活動の支援	「ふたばの日」ガイドツアー年間参加者数			
(補助金事業) エキキタの賑わいづくりに繋がる自発的な取組や活動を支援する。			○	13	歴史の散歩道ボランティアガイドの会	地域起こし推進課		815人	830人	871人	911人
					(エ)「夏の夜、祈りと平和のタベ」に外国人を含む来訪者を増やそう！ 【関連】 3-(1)-(イ)	・イベントのPR ・外国人向けガイド内容の検討 ・ガイドツアー実施	・実行委員会運営 ・広報活動の支援	外国人を含むイベントへの来訪者数			
					歴史の散歩道ボランティアガイドの会	地域起こし推進課	1900人	2,000人	2,300人	2,500人	
					(オ)「魅力と活力向上推進事業補助金」で対応 【関連】 3-(3)	・広報活動の支援	「魅力と活力向上推進事業補助金」の新規申請件数				
(2)産直市などによる交流の場の創出	産直市(木曜であい市)やスケート開場祭などのイベントへの出店(ふれあいもてなし市)により出会いと交流を育む取組を実施するなど、様々な機会を捉え、出会いと交流の場を創出する。		○	14	(ア)「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！ 【関連】 3-(6)	・「木曜であい市」への出荷及び開催 ・安心して食べられる地元野菜の栽培とPR	・「木曜であい市」の開催支援 ・広報活動の支援	木曜であい市年間来場者数			
					ふれあいもてなし市協議会	地域起こし推進課	2018:4,444人 2019:3,500人	4,000人	4,250人	4,500人	
(3)公共空間(公園等)を活用した花づくり	区民による花づくり活動を通じて潤いのある街をつくとともに、花づくりをきっかけとして地域の交流の輪を広げ、明るく住みよいまちづくりを進めることを目的とした活動をさらに広めていく。		○		(イ)地元野菜を使った「元気じゃけんレシピ」で東区をPRしよう！ 【関連】 2-(5)-(イ) 3-(4)-(イ)	・レシピの開発 ・食材の提供 ・レシピを使った料理教室の実施	・関係団体間の連絡調整 ・料理教室実施補助 ・広報活動の支援	地産地消を推進するため、地元野菜を活用したレシピの数			
					ふれあいもてなし市協議会 東区内JA 広島女学院大学 比治山大学・比治山大学短期大学部	地域起こし推進課・地域支えあい課	-	年2品	年2品/累計10品	年2品/累計20品	
(3)公共空間(公園等)を活用した花づくり			○		東区を花でいっぱいしよう！	・地元の公共用地等での花づくり ・花づくり活動のPR ・スキルアップのための講習会の企画実施	・花づくりに必要な資材・苗等の提供 ・講習会等の開催 ・広報活動	花づくり活動団体数			
					花づくり団体・地域団体	地域起こし推進課	38団体	計42団体	計50団体	計55団体	